

長野市公文書館便り

2017 Spring



●発行日：平成29年(2017)4月14日 ●発行：長野市公文書館

©NaganoCityArchives

長野市インターネットテレビ番組



「ふるさと長野～カイクンの歴史探訪～」の紹介

長野市は、市の魅力を掘り起こして、市民をはじめ全国の皆さんに知ってもらおうと、民間と協力して「ながのシティプロモーション」の企画に取り組んでいます。その一環として平成28年度、長野市の歴史を紹介する動画番組を作り、インターネットテレビ局「愛テレビながの」で配信してきました。

企画課・長野市公文書館・愛TVながのの担当でプロジェクトチームを作り、毎月1回、計10回の配信計画で、『長野市誌』の記述をもとに長野市公文書館所蔵の資料を多く用いて番組を作成しました。小中学校における歴史学習や地域の歴史を取り上げる学習、市民を対象にした公民館での講座、市職員の研修などで幅広く活用して長野市の歩みを知り、ふるさとへの愛着を深めていただければと願っています。

◆わかりやすく親しんで見ていただくために

子どもたちにも「ふるさと長野」への理解が深まるよう、以下のような工夫を取り入れて番組を制作しました。

- ・長野市公文書館には、マスコットがいます。名前は、英語のアーカイブ（保存記録）からと

った「カイクン」です。カイクンは案内役をつとめるとともに、番組の始めと終わりに登場し、テーマとまとめの言葉を述べています。

- ・1本6分から10分ほどで、全10本。『長野市誌』の記述をもとにして歴史事項を精選し、10回のテーマに分けました。長野市域のあゆみに迫ることができるよう心掛け、各回をさらに4項目に分け、内容を掘り下げています。
- ・映像と字幕を併せて提示することで、効果的にストーリーを展開するようにしました。ナレーションを吟味し映像の精選と提示の仕方についても様々な工夫をしています。

◆ご利用について

愛テレビながのは平成29年3月末をもって閉局しましたが、「ふるさと長野～カイクンの歴史探訪～」は引き続き長野市のホームページからご覧いただけます。

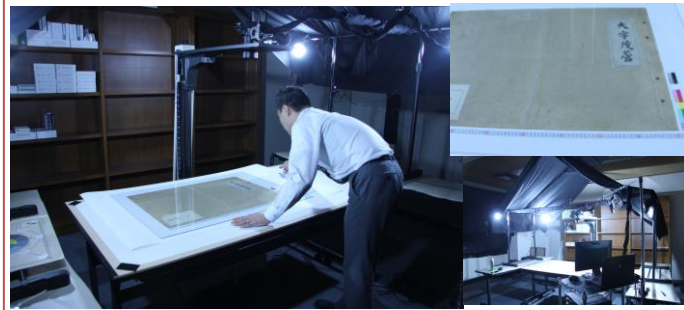
- ・長野市ホームページ→キッズページ→もっと知ろう ながのし→長野市の歴史→No1～10のうち見たい番組を選択しクリック
- ・「長野市の歴史動画」で検索
- ・<http://www.city.nagano.nagano.jp/site/kids/145481.html>

(1) 各回のテーマ

NO	テーマ
1	豊かな水と緑 ～わたしたちの長野市～
2	善光寺平のあけぼの ～クニのおこりと開けゆく北信濃～
3	戦国の世と川中島の戦い ～生きのびた北信濃の武士～
4	全国に広がる善光寺信仰 ～一生に一度は善光寺参り～
5	信州最大の松代藩 ～十万石の城下町と北国街道～
6	広がる文化と変わりゆく世の中 ～佐久間象山の活躍と藩校・寺子屋～
7	新しい世の中 ～県都長野市の誕生～
8	戦時下の長野市民 ～昭和恐慌から太平洋戦争～
9	戦後の発展 ～復興と高度経済成長～
10	未来へ羽ばたく長野市 ～魅力あふれるふるさとへ～

旧和紙公図のデジタル化始まる！

公文書館の資料のなかで閲覧申請が多く大変貴重な資料の旧和紙公図。現在 3800 点ほどを保管しています。傷みがはげしく修復が必要なものも多いため、数年かけてデジタル化していくことになりました。これにより、劣化や破損からオリジナルを守れて、利用者の皆様には鮮明な画像でご覧いただけることが可能になります。まずは、茂吉地区から。2月9日から作業がスタートしました。尚、デジタル画像の公開・閲覧の時期は、今のところ未定です。



図書紹介



ベルギー在住のモル・セルジュ氏が執筆された「TAKEDA SHINOBI HIDDEN」(210-円)。この本は真田家が治めた松代藩の重臣達に受け継がれた武田家由来の忍びの伝書(巻物)について書かれたもので、その調査のため公文書館にも数回にわたり来館されました。



The directors and staff of Nagano City's Kobunshokan, for their kind assistance in looking up, preparing and copying materials for me, thus helping me save a lot of time during my research in Nagano.

(巻末に「長野市公文書館の職員に感謝します。」といった文が記載されていました！)

今年もやります！

「公文書館バックヤード見学ツアー」

普段なかなか見ることのできない公文書館の書庫や作業場がご覧いただけます。公民館や老人福祉センター、学校等5人以上の団体でお申し込みください。まずはお電話ください。

祝 来館者1万人達成!!

3月17日公文書館の来館者数が1万人に到達しました。平成19年(2007年)11月に開館して、まもなく10年を迎える節目の年におめでたいことが重なり、職員一同とても喜んでます。

1万人目の小林佳枝さんは、「公文書館は、生涯学習の場所で、充実した日を送っています。とてもいい文書や資料がたくさんあるので、もっと多くの人に活用していただきたい。」と、おっしゃっていました。



1万人目の来館者、小林さん(市内在住)に記念品がおくられました。

日々是文書 ～スタッフ通信～

【公開資料】

- ・古文書 「諏訪部家文書(23点)」「小林竜太文書(16点)」「深澤家文書(9点)」「藤澤正夫文書(22点)」「郷社健大岡神社文書(129点)」「下駒沢区有文書(654点)」
- ・行政刊行物(958点)
- ・長野市役所非現用文書(296点)

【活動記録】

- ・中条歴史民俗館からダンボール17箱分の資料の移管(12/16)
- ・行政刊行物平成28年度移管分958点並び替え(12/20)
- ・小田切公民館出張講座「小田切の歴史に学ぶ」20人出席(1/18)
- ・ちよっ蔵おいらい館でパネル展(1/31-2/12)
- ・戸隠公民館見学ツアー21人参加(3/2)
- ・文献史料保存活用講習会に職員2人出席(3/8)

『市誌研究ながの』24号 刊行しました!!



松代が生んだ近代演劇の先駆者・松井須磨子に関する講演収録や、近世以前の鐘鐺堀の開発、松代藩における「夫役」、善光寺手水屋等に関する論文・研究ノートなどを掲載しています。ご希望の方は、当館までお問合わせください。

◇A4版・198頁・頒布価格：1,500円(税込)

長野市公文書館

所在地 長野市箱清水一丁目3-8 長野市城山分室内(〒380-0801)
電話 026-232-8050 F A X 026-232-8051
H P <http://www.city.nagano.nagano.jp/naganoarchives/>
又は **長野市公文書館** で検索
E-mail shomu-9@city.nagano.lg.jp
開館時間 午前9時～午後5時(閲覧申込みは午後4時30分まで)
休館日 土曜日・国民の祝日に関する法律に規定する休日
年未年始(12月29日～1月3日)

今年もやります！

長野市インターネットテレビ番組
「ふるさと長野～カイズくんの歴史探訪～」の場面より



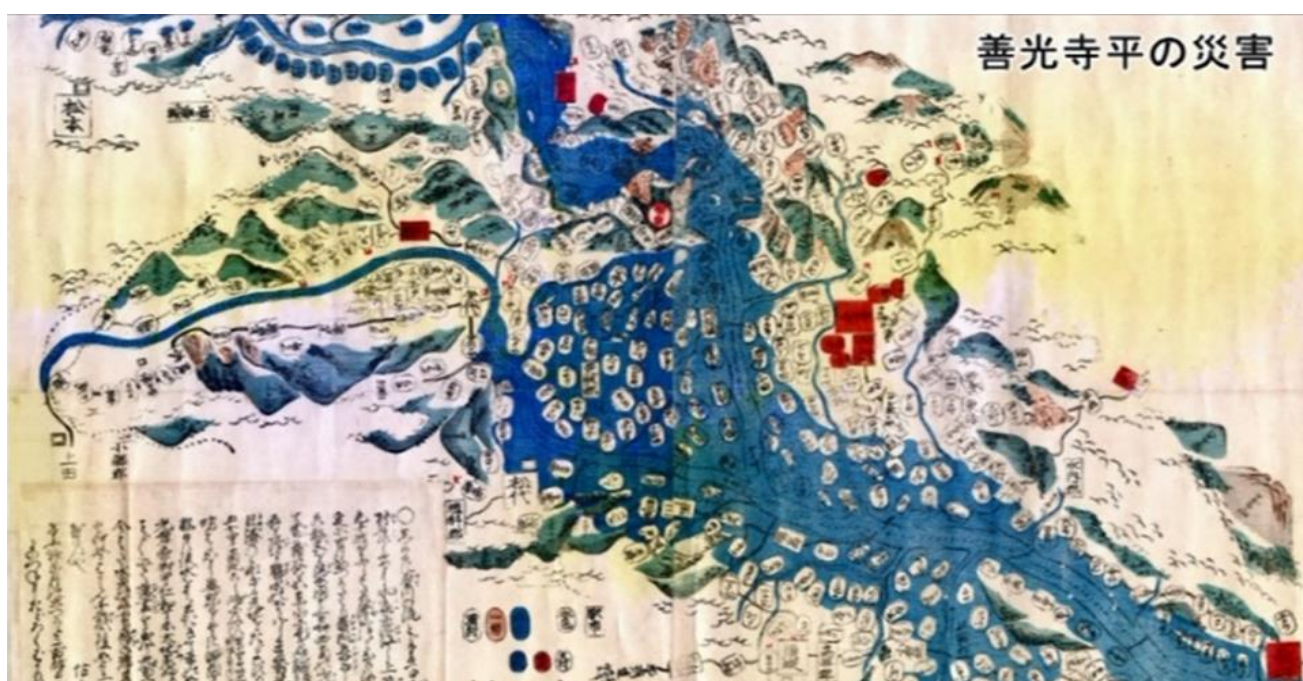
写真① 番組冒頭の画面



写真③ 第4回 信濃水内彦神別神社遺跡之図



写真② 第1回 明治36年(1903)(上)と平成7年(1995)(下)の長野市街地遠望 安茂里の夏目ヶ原より撮影



写真④ 第6回 信濃国山川崩激之図



写真⑤ 第8回 如是姫像も…



写真⑥ 第8回 代わって防空壕が…

(2) 番組の動画画面の紹介

①各番組の冒頭画面

ゆっくりとモノクロ画面になり、オレンジ色の題名が浮かび上がります。長野市を代表する旧跡や建造物である善光寺、松代城、長野駅、長野オリンピック会場のエムウェーブが背景です。(写真①)

②第1回 「豊かなる水と緑」より「県都長野市」

第1回は、長野市を地理的・歴史的に概観し、以降の番組の興味・関心を高めていただくことを意図して作成しています。シリーズ全体の導入でもあります。番組のスタートは、誰もが1度は目にしていると思われる姨捨山から見る善光寺平です。そして、若穂太郎山から、北西方向に広がる市街中心部を望見しました。長野市のシンボル飯綱山も堂々と構えています。

写真②は、明治36年(1903)と平成7年(1995)の長野市街地の遠望を上下に並べて提示しています。撮影場所は安茂里の夏目ヶ原浄水場で、現県庁舎を中心に往生寺山麓から若里方面までを画面に収めています。2枚の写真から、長野市の大きく変化した姿を知ることができます。上下に並べ提示していますので、比較しながらご覧ください。

③第4回 「全国に広がる善光寺信仰」より「本堂再建と御開帳」

善光寺は、過去に15回火災に遭ったといわれています。本堂は如来堂ともいわれていましたが、寛永19年(1642)に焼失してしまいました。この如来堂は、現在の仲見

世通りの延命地藏の場所にありました。写真③からそれが分かります。

現本堂(国宝)は、火災を避けるために位置を大きく北へずらして、現在の地に再建されました。再建の場所に元からあった北之門町は城山の東側の北国街道筋に移され、できた町が新町です。現本堂は、再建途中の火災を乗り越え、松代藩や江戸の寛永寺の支援のもと、前立本尊の全国開帳などを行って資金を集めて、宝永4年(1707)に完成しています。

④第6回 「広がる文化と変わりゆく世の中」より「善光寺平の災害」

江戸時代の災害の主なものを紹介しています。寛保2年(1742)戊の満水、天明3年(1783)浅間山の噴火と天明の飢饉、弘化4年(1847)善光寺地震。どれも大変な災害でした。赤沼にある洪水の水位標、千曲川の流路変更、「浅間山大焼けの図」、『地震後世俗語之種』、『信濃国山川崩激之図』などの資料によって紹介しています。写真④「信濃国山川崩激之図」は、せき止められた犀川が決壊して洪水が広がった場面ですが、番組では、決壊する前の図に重ね合わせることで、災害の様子を大変分かりやすく表現することができました。

⑤⑥第8回 「戦時下の長野市民」より「追いつめられる市民生活」

金属供出は生活のあらゆる面に及びました。鍋・釜・寺の鐘…、長野駅前の如是姫像も。供出後には防空壕が作られました。写真⑤⑥は、供出の前後でほぼ同じ角度から撮影しており、なじんだ駅前の風景からぽっかりと如是姫像が抜けてしまったことがよく分かります。

